

新宿でした

モノガタリの始まりは



明治35年(1902年) 写真工業(六桜社跡地)

新宿中央公園がある場所は
日本の写真工業発祥の地でした

小西写真工業(現・コニカミノルタ)が
写真感光材料の国産化を目指し、玉川上
水助水堀の水を得られた当地に工場を
移転し、「六桜社」に改称。

その後、写真カラーフィルムの国産化
に成功。昭和38年(1963年)まで当地で
操業しました。

所在地 西新宿2-11、新宿中央公園



★…新宿歴史博物館所蔵



当時の小西写真工業(六桜社)
の北門正面(★)

明治



新宿御苑の
フクパイチゴ(※)



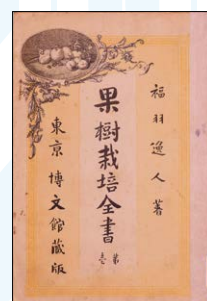
明治26年(1893年) マスクメロン(新宿御苑)

明治33年(1900年) 国産イチゴ(新宿御苑)

新宿御苑で現代の
高級フルーツを初栽培

明治初期、近代農業の研究・新
興の拠点だった新宿御苑で農学
博士の福羽逸人が海外から取り
寄せた種子を使い、日本初のマス
クメロンと国産イチゴのルーツ
となる「福羽母」等、果物の栽培に
成功。当時はいずれも皇室献上用
の果物でしたが、後に贈答品とし
て人々の手にも届くようになり
ました。

所在地 内藤町11



福羽逸人著書
「果樹栽培全書」(★)

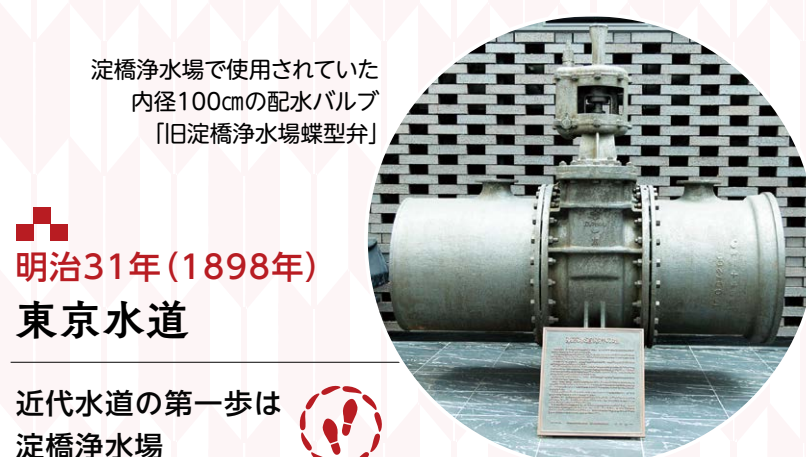


当時の加温式の
洋風温室(※)

初 発

新宿「ハツ」を巡って みませんか。

新宿には、さまざまな「初めて」や「発祥」があります。今回は食から生活を支
モノ・コトを紹介します。ぜひ、新宿「ハツ」に触れてみませんか。



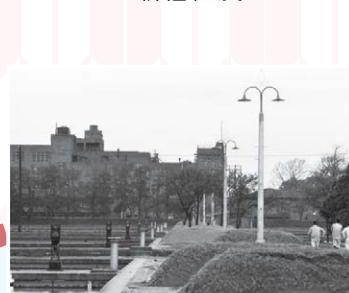
淀橋浄水場で使用されていた
内径100cmの配水バルブ
「旧淀橋浄水場蝶型弁」

明治31年(1898年) 東京水道

近代水道の第一歩は
淀橋浄水場

明治以降、近代化に伴う水質悪化が問題視され、東京で
初めて現在の西新宿2丁目付近一帯の約34万㎡の広大な
区域に近代的な浄水場を整備。明治25年(1892年)に着
工し、約7年かけて竣工。玉川上水で取水し、浄化した水
を周辺地域に給水しました。

所在地 東京水道発祥の碑・配水バルブ…西新宿2-6-1、
新宿住友ビル



昭和30年代の淀橋浄水場
の作業風景。後ろの建物は
小西写真工業(★)



淀橋浄水場の様子(★)

新宿高野でマスクメロンを
ギフトとしていち早く販売

西洋から日本に渡り、新宿で品種改
良されたマスクメロンは、今や日本が
誇る高級果物のひとつ。お祝いやお見
舞いに果物を贈る文化が広まった大正9年(1920年)ごろか
ら現在まで、ギフトとして大変喜ばれている果物です。



新宿高野本店



昭和12年当時の
本店ビル

株新宿高野営業推進部ブランド推進担当部長
秋山 智則さん



当店二代目・高野古太郎が時代の趨勢を読んで、大正8年(1919
年)からマスクメロンの販売を開始。マスクメロンを日本で普及させ
たいと考えていた大隈重信が大正9年(1920年)に日本初の品評会
を開きました。以来、マスクメロンは当店を象徴する果物といえます。

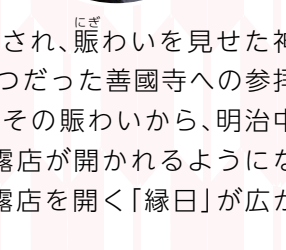
えるインフラまで、区内の「初めて」「発祥」にまつわる

明治中期 縁日(善國寺)

東京の縁日の発祥は
「神楽坂の毘沙門天」の地！

明治以降、民家や花街が形成され、賑わいを見せた神
楽坂。江戸の三代毘沙門天の一つだった善國寺への参拝
客も増加し門前町として発展。その賑わいから、明治中
期には境内で参拝客目当ての露店が開かれるようになり
ました。その後、東京各地に露店を開く「縁日」が広が
りました。

所在地 神楽坂5-36



昭和40年頃の善國寺
の縁日の様子(★)

明治43年(1910年) 国産飛行機 (国産飛行機発祥の地)

日本初飛行の試験場は大久保でした

ライト兄弟が動力飛行機の有人飛行に成功してから7年。日本では当時牛込(現在
の西五軒町)にあった林田商会が、陸軍大尉・日野熊蔵の指導のもと国産初の飛行機
を製作。完成した「日野式一号機」は大尉が自ら搭乗し、戸山ヶ原(現在の久保3丁目
(現・都立戸山公園)周辺)で初の国産飛行機の飛行試験を行いました。

所在地 西五軒町12-10



最初の国産飛行機を製作
した林田商会跡地(国産
飛行機発祥の地碑)

昭和2年(1927年) 純印度式カレー(新宿中村屋)

日本で初めてインドカレーを提供

スパイスを効かせた「純印度式カレー」は、小麦粉を使った欧風カ
レーが当たり前だった当時、人々に強烈なインパクトを与えました。反
響を呼んだその味は、今も看板メニューとして伝え継がれています。



昭和2年の喫茶部(レストラン)
開設当日の記念写真



発売当初の「純印度式カレー」の
セット

クリームパンも元祖(明治37年)

本郷で生まれ
新宿で広まった看板商品

新宿中村屋の創業者夫妻がシュークリームを
初めて食べた際、カスタードクリームのおいし
さに感動し、パンの中にクリームを入れること
を思いつき商品化したのが始まり。今では長き
にわたり支持されている新宿中村屋の看板商品
です。時代に合わせて知識や技術を柔軟に取り
入れながら、おいしさを守り続けています。

所在地 新宿3-26-13、新宿中村屋ビル



発売当時の
クリームパン



温故知しん! じっくり散歩

関区政情報課広報係 ☎(5273)4064

新宿観光振興協会ホームページでもさ
まざまな新宿「ハツ」を紹介しています!
https://www.kanko-shinjuku.jp/
special/-/article_3044.html



マークについて詳しくはこちら
https://bunkakanko-
annai.city.shinjuku.lg.jp/
★同サイトでは、区の多彩な文化財や見
どころ等を紹介しています!

昭和7年(1932年) ふりかけ(錦松梅)

四谷で作られた江戸前の味、
高級ふりかけ。商品化は昭和

ふりかけの発祥は諸説ありますが、高級ふり
かけが生まれたのが四谷に構える佃煮ふりか
けの「錦松梅」です。同社の創業者、旭翁が食道
楽の末に作り上げたふりかけは、知人に提供さ
れる以外に世に出回ることにはなかったものの、
周囲の評判を受け、「佃煮ふりかけ」として商品
化されました。

所在地 四谷3-7



大正 昭和

昭和60年(1985年) いちご大福(大角玉屋)

定番スイーツとなった
パイオニア

老舗和菓子屋・大角玉屋の三代目が
「大福にいちごを入れたら面白そう」
と思い立ち、製造・販売したところ大
好評。発売から40年以上経った今で
も人気は衰えることなく、日本を代表
する和菓子として定着しています。

所在地 住吉町8-25

